令和元年９月１４日

「現在の区行政の課題と、その解決策について」

氏　名：　塩屋　幸男

■現在の区行政における課題について

「副首都ビジョン」に沿った大都市としてのあり方を踏まえながら、「ニア・イズ・ベター」の理念の更なる具現化を区の特性に応じて実行していくことが区行政としての課題そのものであると認識していますが、基本的な取り組み分野を適確にカバーすることを前提としつつ、以下の２点については、特に注力していくべきであると思料しております。

（１）　活力の基盤となる「人づくり」の強化

・活力ある日本、活力ある大阪の基盤となる取り組みは、「人づくり」にあると思料しております。

・特に、未来を担う子どもたちが、家庭の状況等に関わらずしっかりと生き抜く力をつけていくための支援や環境の実現は重要な課題であると考えます。

・この点、「全国学力・学習状況調査」等の結果を見ると、これまでの努力の結果、大阪市全体として改善しつつありますが課題は多く残存しております。特に生活習慣や意識実態の結果を拝見すると、家庭での学習や生活状況を含めた様々な地域課題が示唆されています。「自分にはよいところがあると思うか」との設問に対する否定的回答が、小学校６年生で２５．２％、中学校３年生で３２．５％に及んでいることや、平成２８年度に実施した「子どもの生活実態調査」において、将来の夢や目標があるかとの設問に対する否定的回答が、大阪市全体の小学５年生で１４．１％、中学２年生で３５．３％に及んでいる結果にもそれらの課題が反映していると思料されます。

（２）主体的に地域課題に取り組む自律した地域の実現

・自然災害に対する強靭な地域社会の実現や、支援を必要とする人を含め誰もが安心して豊かに暮らせる地域環境づくりなど、公共的な課題は多様であり多岐にわたります。

・多様化する公共的な課題を我が事として捉え、地域の実情や地域資源を身近に最もよく認識している区民や地域団体、企業、ＮＰＯなどが、課題解決に向けて主体的に行動できる自律した地域の実現が求められると考えます。

■課題の解決策について

(1) 区行政の基本理念(使命)の明確化と共有 －ビジョン経営の推進－

・区行政の使命は、「区民の幸福の最大化」であると考えております。この基本理念を区民の皆様と十分に共有して業務遂行にあたることを取り組みの基本といたします。

・区役所職員がこの使命を体し、事務遂行の根幹となる基軸として実行計画の策定や個別問題の判断基準とすることで、全職員が確固たる信念をもって力強い行政事務を遂行することができるものと考えます。

・使命達成のための運営の基本としては、

① 地域活動協議会をはじめとする地域団体、企業、ＮＰＯ及び区民の皆様との信頼関係を基盤として推進します。

② 丁寧なコミュニケーションで区民や職員の知恵と力を結集して、衆知を集めた全員経営を行います。

・区民の皆様の声を十分に聴く取り組みを行いつつ、この基本的な考え方を共有いただくことで、区政施策の優先順位の合理性や納得性のご理解がいただけやすくなるものと思料します。

(2)“子ども・子育て世帯”に対する地域全体でのサポート体制づくり

・「子どもが育つ地域、子どもを育てる地域」の実現を重点テーマとして明示し、区民、地域団体、企業・法人、ＮＰＯ、学校園及び公的機関を含む地域全体で連携して推進するムーブメントを持続的に起こしてまいります。

・既存の制度やしくみを最大限に活かすとともに、関係機関の有機的な連携を実現するための組織体制、人的配置を区長マネジメントとして実行いたします。

・企業、大学との連携協定を促進し、理数教育、言語教育、技術情報教育、キャリア教育、教育ＩＣＴを促進するための人的支援、環境整備を強化します。

(3) 市民主体で課題を解決できる自律的な地域づくりの促進

・地域活動協議会と連携した、子ども・子育て世帯支援、防災体制構築、高齢者等支援体制構築等を推進することによって、地域活動協議会を中核とした自律的な地域コミュニティの進化を促進します。

・地域活動協議会等の地域団体と企業・法人、ＮＰＯ、個人有志等の活動主体とを物心両面で結びつける連携の場や共催事業をアレンジすることで、地域団体の組織マネジメント面での進化、及び地域活動の担い手のリクルーティングや地域の次世代リーダー育成の促進を図ってまいります。

(4) 最後に

組織におけるリーダーシップの有効な発揮のための根幹は、究極的にはリーダーの人間性・倫理観・人格であると考えます。これまでの企業組織運営、及び区政経営において培ってきた、「人を活かすマネジメント力」、「組織と人を調整しリードする力」、「グローバル対応力」「コスト管理力」を最大限活かすと共に、住民の皆様の共感とご理解をいただき、職員全員の衆知を結集するために、私自身が、全身全霊で日々の発言と行動を行い、真に信頼に足る人間として成長し続けられるよう精進することが最も重要なことだと認識しております。

以　上